

定番メニューの「クロワッサン」(230円)、「はりねずみのチョコクリームパン」(170円)は「紅茶」(280円)と合わせて



7月29日 11:00撮影

A demain
アドマン



泉中央駅
(バス停徒歩3分)

青色の外観が印象的。これからの時期は秋風心地よいテラス席もおすすめです



毎日約50種のパンが並びます。『七北田公園』のすぐ近くなので、パンを買ってピクニックも



バス運転手 高橋文彦さん

「加茂一丁目西」バス停近くの「Noir・Ba・Curry」は自家製スパイスのカレーパンが絶品です!



駅務員 白井鉄雄さん

泉中央駅から徒歩で行ける「Welcome to the Moon.」は「天までごぼう」という珍メニューがありますよ。

地下鉄 & バス 結節駅から行く!

カメラ片手に気ままなバス旅

仙台市営バスを使って各地を巡る好評連載。今月は地下鉄南北線の泉中央駅起点の路線を巡ります。人気のパン屋にはじまり、ケーキ屋自慢のどら焼き、メのハード系パンまでグルメ色の旅となりました。

長命ヶ丘四丁目
(バス停徒歩2分)

Bakery and café 3110
サイトウ

人気商品の「イチジクとクリームチーズ」(240円)、「パテドカンパニーとコルニッションのサンド」(350円)

7月29日 14:00撮影



午後には売り切れるパンもあるので、早めの来店がおすすめです



「お客さんとの会話を楽しみたい」とオープンキッチンのスタイルに

Sweets Shop OZZY
オジー

7月29日 12:30撮影



長命ヶ丘二丁目西
(バス停徒歩すぐ)

「どらやき」(216円〜)は、北海道産小豆と三温糖で作る定番の「あんこ」に加え、「抹茶ムース+求肥+あんこ」、「チーズムース」などの変わりダネも



'18年9月にオープン。「どらやき」のほか、ふわふわの「シフォンケーキ」(162円)も人気

今月は
N 01 泉中央
いずみちゅうおう
からスタート!



※泉中央駅発の場合の大人料金
※掲載されている運賃は令和元年8月23日現在の運賃です

今月は地下鉄南北線泉中央駅からスタート。泉中央エリアで最初に思いついたのがパン屋「A demain」。しかも食が連想されるのは、よく言えば編集部魂、悪く言えば食い意地が張っている…。とはいえない思いついたらからには向かわずにはいられません。早速伺うと、月曜定休なお店が開いている? どつやら「9月にオープン予定の新店の試作品を作っていたんです」とのこと。なんてラッキー! テラス席でパンと紅茶をいただきながら楽しみな情報もゲットし、ホクホクでお店を後に。バスに揺られて進むことしばし、すると遠くからでもパツチリ目立つインパクト大などら焼きののぼりを発見! 「OZZY」はケーキ屋ですが、実はどら焼きが自慢。北海道産の小豆を使った上品な甘さが絶妙です。定番のあんこ以外にもずんだ、チーズなど種類も豊富なので、手土産にもぴったりですよ。パンにとら焼きと、たっぷり炭水化物を摂取したにも関わらず、「やっぱり最後もガツンとめたい!」と昨年末にオープンした「ベーカーリー3110」へ。フランスの伝統的製法を学んだ店主・齋藤さんが作るパンは、天然酵母と低温で長時間熟成醗酵させた生地を使うことで、噛むたびに小麦の味と香りが豊かに広がります。オープンキッチンスタイルの店内では、パンと合わせてワインやコーヒーが楽しめるカフェスペースも併設されているので、ゆつくりとパンを堪能できるんです。これは時間にゆとりを持つための再訪決定ですね。ということで、炭水化物パワーの編集スタッフも大満足のグルメ旅もこれにて終了。本日もたらくく食べた良き一日となりました!